学校番号	1101

令和２年度　　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂα	単位数	２	年次	２
使用教科書	新編古典Ｂ　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	さくらさく古文単語(浜島書店)						

１　担当者からのメッセージ

・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・古典として古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情など的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			行動の観察 記述の確認及び分析（ノート、ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	古文に親しむ——説話	・登場人物の心情と場面を読み取る。	○			◎	○	a．登場人物の心情を読み取ろうとしている。 d．古典の表現に慣れ、正しく音読している。 e．さまざまな教材を読み比べることで古典の広がりを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	人がうたうとき——歌の物語	・『伊勢物語』の内容について、登場人物とあらすじを把握する。 ・和歌の修辞を理解する。	○			◎	○	a．文章の内容を展開に即して的確に理解しようとしている。 d．物語の中での和歌の果たす役割について理解している。 e．古語について理解し、適切に現代語訳している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	動物の寓話——故事成語	・あらすじを把握する。 ・登場人物たちの心情とその変化を読み取る。	○			◎	○	a．故事成語の叙述のおもしろさを味読漢文訓読に習熟している。 d．漢文訓読に習熟している。 e．故事成語の意味の成り立ちを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期	いくさと人間——軍記物語	・文章の特色をとらえて、優れた表現に親しむ。 ・人間の考え方や人物どうしのかかわりについて理解を深める。	○			◎	○	a．文章の響きやリズムを味わいながら音読しようとしている。 d．語句や文法に注意し、脚注などを参考に本文を現代語訳している。 e．敬語や係り結びについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	英雄の物語(一)——『史記』	・さまざまな人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。 ・『史記』と司馬遷についての知識をまとめる。	○			◎	○	a．様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深めようとしている。 d．『史記』の巧みな描写や構成など、優れた表現を読み味わっている。 e．主要な助字や句法について整理し、理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。